

放射線はキケンだ！ 健康を守り、生活を再建します。 世界最大の原発事故に対しては、世界最大の救済を実行します。



前双葉町長

元双葉地方町村会会長

元双葉地方広域圏組合管理者

1946年 福島県双葉町に生まれる

福島県立小高工業高等学校 卒業

68才

① 「100 ミリシーベルト以下なら発がんはない」 という誤りをただし健康を守ります。

- ▶今すぐ避難計画・20 ミリシーベルト基準を見直します。県民が放射線の安全基準を判断します。このための委員会をもうけます。1 ミリシーベルト以下をめざすことはゆずりません。
- ▶健康手帳を1 ミリシーベルト以上の地域にいた人に交付します。無料の健診と医療をおこないます。
- ▶18 歳以下の甲状腺ガン 103 人の調査結果は原発事故と関係があるので、県民健康（管理）調査は検証し廃止します。健康調査・対策委員会を作ります。
- ▶大切な被ばく作業員の健康を守ります。
- ▶避難すること、もどることは、県が正しい情報を公開し、県民と話し合い、県民が判断できるようにします。

井戸川かつたか

原発さよなら
● あたらしいエネルギーこんにちは ●

